

電動キックボードシェアリング



BIRD の利用方法

STEP 1

街にある駐車ポートを見つけて、乗りたい電動キックボードを選択



STEP 2

車両のQRコードを読み取って、乗車スタート



STEP 3

車両のQRコードを読み取って、乗車スタート

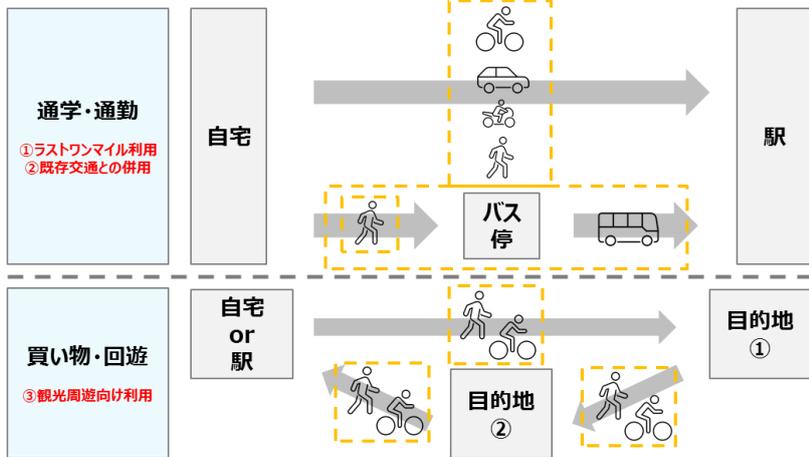


STEP 4

目的地の駐車ポートに返却し、車両の写真を撮影したら乗車完了



電動キックボード活用が想定されるケース *黄枠部分の移動が電動キックボードへの代替可能性あり



デジタルサイネージ

南大沢駅周辺エリア
(団地・都立大・駅前の3エリア)



約30SPOT

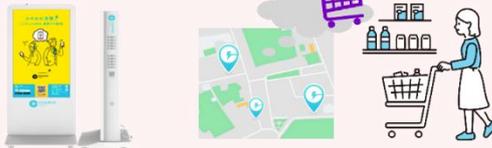
CHARGE SPOT

生活エリア (団地・都立大) - 中型・小型台
(25台~35台を想定)



- 生活・地域や学校に関する情報を適時で提供する
- 利便性の向上とコミュニティやイベントへの参加も促す

人口集中エリア (駅前) - 大型台
(3~5台を想定)



- 店舗やイベント・キャンペーン情報を適時で提供する
- 店舗への誘客や南大沢での消費を喚起する



3D 都市データを活用した AR ナビ

	南大沢駅 → フレスコ南大沢		南大沢駅 → 三井アウトレットパーク多摩南大沢	
想定シーン	<p>平常時 (ルート①-A)</p>	<p>災害発生時 (ルート①-B)</p>	<p>平常時 (ルート②)</p>	
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公共施設等への来訪を目的としたルート案内 (通常/バリアフリールート) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 避難所までのルート案内 (バリアフリールート) ✓ 避難所の高さ情報 (プリセット) を表示 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 三井アウトレットパーク多摩南大沢での買い物を目的とした来訪者に対する、施設内目的地までのルート案内 (実証では案内所やステージ等を目的地として設定予定) 	
実証目的	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ARナビを通じてバリアフリールートを表示・誘導することで、交通弱者が従来の地図やナビよりも容易・安全に移動可能になるかを検証 ✓ ARナビで目的地まで誘導することで、従来の地図やナビよりも容易に移動可能になるかを検証 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ ARナビを通じて目的地まで誘導することで、従来の地図やナビよりも容易に移動可能になるかを検証 	

イメージ図



関連情報（使用するアプリの紹介等）

※南大沢地区における各サービス実施は、令和4年11月25日（金曜日）から順次開始予定

電動キックボードシェアリングサービス「BIRD」



今回の実証では、好きな時に好きなポートで借りて、好きな時に返せる電動キックボードのシェアリングサービス「BIRD」を活用しています。電動キックボードのポート検索やレンタルには、専用アプリが必要です。



モバイルバッテリーシェアリングサービス「ChargeSPOT」



今回のデジタルサイネージの実証では、どこでも借りられて、どこでも返せる※モバイルバッテリーシェアリングサービス「ChargeSPOT」のバッテリースタンド付属のデジタルサイネージを活用しています。バッテリーのレンタルには、専用アプリかスマホ決済アプリが必要です。

※バッテリースタンドの状態によってはレンタルまたは返却が出来ない可能性があります。



リアルメタバースプラットフォーム「STYLY」



今回の 3D 都市データを活用した AR ナビの実証では、世界中のアーティストが創造した AR/VR コンテンツの体験が無料で楽しめるリアルメタバースプラットフォーム「STYLY」を活用しています。

AR ナビの実証の参加には、専用アプリが必要です。

